

株式会社 赤川硬質硝子工業所

対象期間2015(平成27)年1月～12月

環境活動レポート



発行日2016(平成28)年4月 1日

改定日2016(平成28)年5月31日

株式会社 赤川硬質硝子工業所 環境活動レポート

株式会社 赤川硬質硝子工業所

環境方針

私たちは、ますます深刻化する地球汚染や、今後予想される地下資源枯渇への対応を含め、私たちがいつまでも楽しく健やかに生活できる地球環境を守っていくことが人類共通の重要課題だと考えます。このために、人類に6000年以上使われつづけ、地球の組成と似通った組成の硝子を使うことで地球への環境負荷を軽減させることが出来ると考えます。この硝子をさらに環境負荷の少ない方法で、製造・販売することによって環境保全につながるよう全社一丸となって取り組みます。

〈環境保全への行動指針〉

1. 具体的に次のことを取り組みます。

- ①電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②使用原材料等の省資源化、廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)の推進
- ③水資源の節減
- ④化学物質の適正管理をし、定期的にチェック
- ⑤グリーン購入の推進
- ⑥有害原料の使用の削減を検討する

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

4. この環境方針は、全従業員に周知・徹底します。

制定： 2008(平成20)年 11月 8日
改定： 2015(平成27)年 5月 29日
代表取締役社長 田邊 香

◎登録事業所の概要

(1) 事業社名及び代表社名

株式会社 赤川硬質硝子工業所
代表取締役社長 田邊 香

(2) 所在地 大阪府大阪市旭区生江1丁目2番20号

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
責任者 田邊 香

TEL:06-6922-3681

(4) 事業内容(認証・登録の範囲)

ガラス製品製造・販売

(5) 事業の規模

	2013(平成25)年 基準年度 1月～12月	2014(平成26)年 1月～12月	2015(平成27)年 1月～12月
主要製品生産量 t/年	229.0	161.1	91.0

(6) 事業年度 1月～12月

◎認証登録の範囲

登録組織名: 株式会社 赤川硬質硝子工業所
活 動: ガラス製品製造・販売

◎主な環境負荷の実績

項 目		2013(平成25)年 基準年度 1月～12月	2014(平成26)年 1月～12月	2015(平成27)年 1月～12月
二酸化炭素排出量 kg-CO ₂ /年		1,070,441	768,397	359,344
一般廃棄物	排出量 t/年	2.54	1.41	0.71
	リサイクル量 /t	1	1	1
	リサイクル率/%	0	0	0
産業廃棄物	排出量 t/年	173	169	128
	リサイクル量/t	15	12	12
	リサイクル率/%	0	0	0
総排水量 m ³ /年		7224	3769	2135

◎環境目標とその実績(1)中長期目標

環境方針	環境目標項目	責任部門 責任者	基準値 (年度)	年度毎目標・達成手段(取組の自己チェックを踏まえて策定)			
				2015(平成27)年	2016(平成28)年	2017(平成29)年	2018(平成30)年
二酸化炭素・燃料消費の削減	温室効果ガス(二酸化炭素)の削減	総務	1,070,441 kg-CO2 2013 (平成25)年	▼2% (1,049,032kg-CO ₂) ①電力使用量の削減 ②都市ガス使用量の削減 ③ガソリン使用量の削減	▼3% (1,038,328kg-CO ₂) ①電力使用量の削減 ②都市ガス使用量の削減 ③ガソリン使用量の削減	▼4% (1,027,623kg-CO ₂) ①電力使用量の削減 ②都市ガス使用量の削減 ③ガソリン使用量の削減	▼5% (1,016,919kg-CO ₂) ①電力使用量の削減 ②都市ガス使用量の削減 ③ガソリン使用量の削減
	電力使用量の削減	工製造部	700,827kWh 2013 (平成25)年	▼2% (686,810kWh) ①直行良品率の向上 ②切り替えロスの低減 ③順次LEDへの交換/節電	▼3% (679,802kWh) ①直行良品率の向上 ②切り替えロスの低減 ③順次LEDへの交換/節電	▼4% (672,794kWh) ①直行良品率の向上 ②切り替えロスの低減 ③順次LEDへの交換/節電	▼5% (665,786kWh) ①直行良品率の向上 ②切り替えロスの低減 ③順次LEDへの交換/節電
	都市ガス使用量の削減	製造部	333,678Nm ³ 2013 (平成25)年	▼2% (327,004Nm ³) ①良品率の向上 ②単独窯の保温・断熱改良(熱効率上昇) ③ツボ割れの低減	▼3% (323,668Nm ³) ①良品率の向上 ②単独窯の保温・断熱改良(熱効率上昇) ③ツボ割れの低減	▼4% (320,331Nm ³) ①良品率の向上 ②単独窯の保温・断熱改良(熱効率上昇) ③ツボ割れの低減	▼5% (316,994Nm ³) ①良品率の向上 ②単独窯の保温・断熱改良(熱効率上昇) ③ツボ割れの低減
	ガソリンの量削減		462L 2013 (平成25)年	▼2% (452L) ①運行表記録義務付け ②定速走行の励行 ③アイドリングストップ	▼3% (448L) ①運行表記録義務付け ②定速走行の励行 ③アイドリングストップ	▼4% (443L) ①運行表記録義務付け ②定速走行の励行 ③アイドリングストップ	▼5% (439L) ①運行表記録義務付け ②定速走行の励行 ③アイドリングストップ
廃棄物の3Rによる削減	産業廃棄物等のリサイクル率向上	製造部	172.98t 8.88% 2013 (平成25)年	△2% (10.88%) ①単独窯風管のコポジット化 ②レンガ類の3R化 ③切り替えロスの低減	△3% (11.88%) ①単独窯風管のコポジット化 ②レンガ類の4R化 ③切り替えロスの低減	△4% (12.88%) ①単独窯風管のコポジット化 ②レンガ類の4R化 ③切り替えロスの低減	△5% (13.88%) ①単独窯風管のコポジット化 ②レンガ類の4R化 ③切り替えロスの低減
	一般廃棄物等のリサイクル率向上	工製造部	2.54t 25.98% 2013 (平成25)年	△2% (27.98%) ①段ボールリサイクル化 ②使用済上質紙の裏紙使用化	△3% (28.98%) ①段ボールリサイクル化 ②使用済上質紙の裏紙使用化	△4% (29.98%) ①段ボールリサイクル化 ②使用済上質紙の裏紙使用化	△5% (30.98%) ①段ボールリサイクル化 ②使用済上質紙の裏紙使用化
水質源の節減	水質源の節減	製造部	7,224m ³ 2013 (平成25)年	▼2% (7,080m ³) ①冷却補給水の設備改善による低減 ②良品率の向上 ③切り替えロスの低減	▼3% (7,007m ³) ①冷却補給水の設備改善による低減 ②良品率の向上 ③切り替えロスの低減	▼4% (6,935m ³) ①冷却補給水の設備改善による低減 ②良品率の向上 ③切り替えロスの低減	▼5% (6,863m ³) ①冷却補給水の設備改善による低減 ②良品率の向上 ③切り替えロスの低減
化学物質の適正管理	化学物質の適正管理	技術部	化学物質の適正管理	管理・教育研修 ①有害化学物質の適正管理 ②定期的な在庫チェック	管理・教育研修 ①有害化学物質の適正管理 ②定期的な在庫チェック	管理・教育研修 ①有害化学物質の適正管理 ②定期的な在庫チェック	管理・教育研修 ①有害化学物質の適正管理 ②定期的な在庫チェック
グリーン購入	事務用品のグリーン購入	事務	2018年度 100%グリーン化 2013 (平成25)年	年間5品目以上 ①グリーン用品の購入5品目	年間5品目以上 ①グリーン用品の購入5品目	年間5品目以上 ①グリーン用品の購入5品目	年間5品目以上 ①グリーン用品の購入5品目
環境配慮事項 (有害原料使用量の削減)			実績 不明	有害原料の実態調査 (実績:鉛0t、カドミウム0t)	鉛使用の代替案の提案	鉛使用の代替案の提案	鉛使用の代替案の提案

注1) 2014(平成26)年以降は2013(平成25)年を基準年とし目標設定しています。

注2) 二酸化炭素排出係数は、関西電力(株)の2013年公表値 0.522kg-CO₂/kWh を適用しています。

注3) 産業廃棄物・一般廃棄物のリサイクル率算出方法:リサイクル合計/廃棄物合計

注4) 表の中で、▼は削減を表し、△は増加を表しています。

※灯油・LPG・軽油は少量のため目標から除外しました

◎環境目標とその実績(2)2015(平成27)年実績

取組み項目	2013(平成25)年 基準年度	リサイクル率 (分子/分母)	2015(平成27)年			
			目標	設定方法	実績	リサイクル率 (分子/分母)
二酸化炭素排出量削減(kg-CO ₂)	1,070,441		1,049,032	基準値-2%	359,344	
二酸化炭素 内訳	電力使用量削減 (kWh)	700,827	686,810	〃	353,758	
	都市ガス使用量 削減(Nm ³)	333,678	327,004	〃	82,649	
	ガソリン使用量 削減(L)	462	452	〃	182	
産業廃棄物 リサイクル率の向上	8.88%	15.32/172.98	10.88%	基準値+2%	31.18%	39.77/127.53
一般廃棄物のリサイクル率の向上	25.98%	0.66/2.54	27.98%	〃	42.25%	0.30/0.71
水質源の節減(m ³)	7,224		7,080	基準値-2%	2,135	
化学物質の適正管理	適正管理		適正管理			
グリーン購入の推進	購入グリーン商品 2品目		目標:グリーン商品を2品目以上購入 実績:0品目			
環境配慮事項 (有害原料使用量の削減)	2015年実績を基準とする		目標:有害原料の実態調査の実施 実績:鉛0t、カドミウム0t			

◎環境活動の取り組み計画と評価

取り組み計画	2015(平成27)年達成状況(1月～12月) 達成率 目標/実績	2015(平成27)年 評価 (結果と今後の方向)
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO₂)	目標: 1,049,032 kg-CO ₂ 実績: 359,344 kg-CO ₂ 達成率 292%	数字的には良い傾向にあると思われるが、2016年は基準年度を再度検討したい。
電力の削減(kWh) ①直行良品率の向上 ②切り替えロスの低減 ③順次LEDへの交換/節電 ・昼休みの消灯 ・冷房28℃ 暖房20℃	目標: 686,810 kWh 実績: 353,758 kWh 達成率 194%	エアコンの温度設定や使用時間を会社全体で気にかけて結果が出ていると考えられる。 今後とも、左記の電力削減の取り組みを継続する。
都市ガスの削減 (Nm³) ①良品率の向上 ②単独窯の保温・断熱改良 (熱効率上昇) ③ツボ割れの低減	目標: 327,004 m ³ 実績: 82,649 m ³ 達成率 396%	ガスの使用量が削減しているが生産量との関係もあると考えられる。 今後とも、左記の都市ガス削減の取り組みを継続する。
ガソリンの削減(L) ①運行表記録義務付け ②定速走行の励行 ③アイドリングストップ	目標: 452.5 L 実績: 182.1 L 達成率 249%	車の使用頻度が減ったためかとも考えられる。 今後とも、エコ運転に努めるなど、ガソリン削減の取り組みを継続する。
一般廃棄物 リサイクル率向上(%) ①段ボールリサイクル化 ②使用済み上質紙の裏紙使用化	目標: 27.98 % 実績: 42.25 % 達成率 151%	リサイクルする段ボールの量も減ってきている。 今後とも、リサイクル・リユースを進め、一般廃棄物リサイクル率向上の取り組みを継続する。
産業廃棄物 リサイクル率向上(%) ①単独窯風管のコンポジット化 ②レンガ類の3R化 ③切り替えロスの低減	目標: 10.88 % 実績: 31.18 % 達成率 287%	廃棄物の量も減らすように努めてきた。リサイクル量を増やすように努めてきた結果が出てきている。 今後とも、左記の活動を進めることで、産業廃棄物リサイクル率向上の取り組みを継続する。
水質源の節減 ・節水呼びかけ ①冷却補給水の設備改善による低減 ②良品率の向上 ③切り替えロスの低減	目標: 7,080 L 実績: 2,133 L 達成率 332%	生産量との関係もあると考えられる。今後も節水には注意していく。
化学物質の適正管理	有害化学物質の適正管理・取り扱い教育 定期的な在庫チェック	今後とも、化学物質の適正管理をし、定期的な在庫チェックしていく。
グリーン購入の推進 ①グリーン用品の購入品目を増やす	グリーン商品購入2品目は未達成(0品目)	今後は、グリーン商品の購入を増やしていく。
環境配慮事項 (有害原料使用量の削減)	目標: 有害原料の実態調査 実績: 有害原料使用量 鉛0t カドミウム0t	今後も有害原料使用量の削減に努めていく。鉛は顧客注文によって使用する場合もあるが代替の提案をする。

◎環境関連法規制等の順守状況

適用される主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき主な規制事項	遵守評価
廃掃法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
大防法	規制物質(ばい煙、揮発性有機化合物、粉塵、有害大気汚染物質等)を排出する特定施設の届出、規制基準の遵守、排出濃度の測定と記録、事故時の報告	該当なし
省エネ法	エネルギー管理統括者・エネルギー管理者等の届出、エネルギー使用に関する定期報告書・中長期計画書の提出	遵守
騒音規制法	指定地域内の特定施設の届出(コンプレッサ等)、規制基準の遵守65dB以下	遵守
振動規制法	指定地域内の特定施設の届出(コンプレッサ等)、規制基準の遵守70dB以下	遵守
毒劇法	専任の劇物取扱責任者を都道府県知事に届出(変更したときも同様)、毒劇物の適正管理	遵守
消防法	(防火対象物)防火管理者の届出、消防計画の作成、避難訓練の実施、消火設備・火災警報設備の点検整備、避難設備の維持(危険物取扱所)設置許可、技術基準の遵守、危険物保安監督者の届出、定期点検の実施と記録の保存	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理	遵守
PRTR法		遵守
大阪府生活・環境保全条例	化学物質管理指針の遵守	遵守
下水道法	特定事業場・特定施設の届出、排水基準の遵守、水質の測定と記録、事故時の届出	遵守

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。関係当局からの違反等の指摘及び近隣からの苦情は過去3年間にわたってありませんでした。

◎代表者による全体評価と見直し結果

開催期日： 2016(平成28)年4月12日

開催場所： 新館3階会議室

【見直し事項】

- ①環境方針については、当面現行のまま継続する。
- ②環境目標については、2013(平成25)年の基準年を再検討する。又、廃棄物量の削減の方法について会社全体で検討する。
- ③その他の要素については、特に変更する必要はない。

以上